

特集！！コロナ禍での「せっけんの街」の活動

リモートで

せっけん学習会の開催

今、せっけんは、PRTR法の第一種指定物質に選定される瀬戸際に立たされています。せっけんの街では所管省へ「化管法対象物質見直し合同報告（案）に対する意見書」の提出（パブコメ）、「PRTR法に於ける、第一種指定化学物質候補物質へのせっけん成分を指定しないよう求める要望書」を賛同団体と共に提出するなど、選定回避を目指した活動をしてきました。

10月には、洗剤・環境科学研究所の長谷川治氏をお招きし、今回のPRTR法改正の動きや今後の対応について、Zoomを利用したリモート学習会を開催しました。他の団体からの参加者も多く、23名が出席し、今後連帯し活動していくことを確認する場にもなりました。せっけんの抗ウイルス効果についての紹介もあり、あらためてせっけんの良さ実感することができました。（若月）



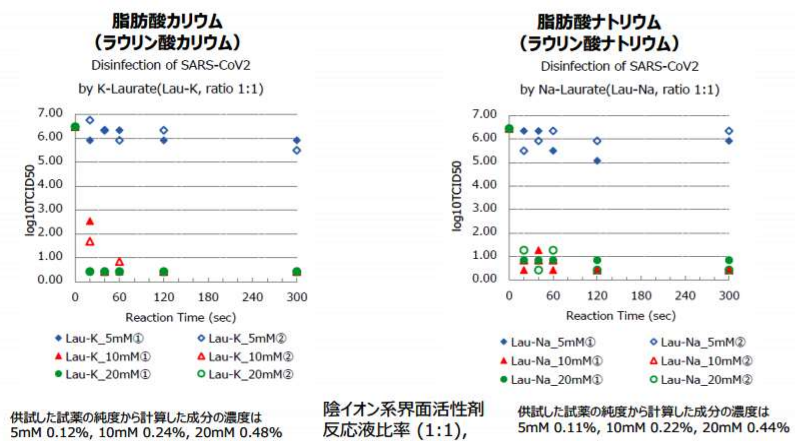
印旛沼クリーンハイキング

例年10月に500人規模で行われている印旛沼クリーンハイキングがコロナ禍で中止となり、今年は毎年実行委員として参加している漁協やライオンズクラブのメンバーなど約80人が集まり、3班にわかれ周辺のごみ拾いをしました。今年は訪れる人が少ないせいか、ごみも少ないようです。せっけんの街は毎年参加者にせっけんのサンプルを成田市の予算で配布していたのですが、残念ながら今年は配布できませんでした。久しぶりに訪れた印旛沼、遠くにコブハクチョウらしき姿、湖面には鶴が休んでいます。甚兵衛公園にはコスモスが咲き乱れ、自然は何も変わらずいつもと同じ、なんとなくホッとする一日でした。（須田）



国立感染症研究所の評価試験データによりせっけんの抗ウイルス効果が実証されました

界面活性剤① 純石けん分(脂肪酸カリウム、脂肪酸ナトリウム)



※せっけんは水中のカルシウムイオンなどと反応し金属せっけん（せっけんカス）を生成するため、ある程度の濃度（0.24%以上）で効果を発揮します。同じ実験でシャンプーやボディソープなどに使われているアルキルエーテル硫酸エステルナトリウム（AES）は効果が認められないと評価されています。

詳しくは独立行政法人製品評価技術基盤機構（nite）まで <https://www.nite.go.jp/data/000111315.pdf>

国立感染症研究所の評価試験データはコチラから>>



リモート会議

コロナ禍の中、せっけんの街もZoomを使ったリモート会議を取り入れました。理事会メンバーをはじめFAX世代がほとんどということで、始める前は心配でしたが、移動は居間からパソコンのある部屋まで。交通費も掛かりません。資料も事前にクラウドに置かれるので、じっくりと検討することができます。これはよい道具を手に入れたと喜びました。しかし、議事録を確認してみると「こう決めたはずでは??」という点が多々見られるようになりました。実際に会って話をしている時には言葉だけではなく、表情や仕草で相手が納得しているか判断をしているものです。パソコンの小さな画面では、なかなか正確な情報を得ることは難しいのかもしれませんが。毎月の経営会議は少人数ということ、込み入った決定事項が多いなどの理由で、リモートではなく対面で開催しています。ウイズコロナの時代もそんな使い分けが必要なのかもしれませんね。（若月）



Webを活用した新しい形でのイベントが各地で開催されました

エコメッセ2020ちば

毎年秋には、千葉市幕張で「エコメッセ」が開催されていましたが、今年はコロナ禍により、動画で参加することになりました。一年間配信されます。（道端）



野田市バーチャル産業祭

例年は洗浄実演販売で2日間の出店。直接会話のない新しい形での出展に迷いつつも、1年間広くPRできるならと参加しました。動画発信の効果や雨天でも実施できたwebの力に新時代を実感しました。（滑川）野田市バーチャル産業祭の詳細は『のだナビ』(www.nodanavi.jp)をご覧ください。



松戸市消費生活パネル展

団体が活動パネルを1枚、市役所通路に展示しました。同時開催で「デジタル消費生活パネル展」が市のホームページに掲載されました。（今年度中は配信されます。）せっけんの街は「雨水を貯めて活用しよう!」のパネルとコメントを掲載しました。（川野）



せっけんの街のデジタル消費生活パネル展コチラから>>

